

令和6年度 授業計画目次

	学 科 目		単位	授業 回数	履修学年			ページ数	
					1学年	2学年	3学年		
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	生物学	1	8	●			1	
		化 学	1	8	●			2	
		心理学	1	14	●			3	
		英 語	1	8	●			4	
		英会話	1	8		●		5	
		情報科学	I	1	8	●			6
			II	1	8	●			7
		コミュニケーション論	1	8		●		8	
		保健体育	I	1	8	●			9
			II	1	8		●		10
小 計			10	—	—	—	—		
専門基礎分野	人体(歯・口腔を除く)の構造と機能	解剖学(系統)	2	15	●			22	
		解剖学(組織発生)	1	8	●			23	
		生理学	1	8	●			25	
	歯・口腔の構造と機能	口腔解剖学	2	15	●			26	
		口腔組織学	1	8	●			24	
		口腔生理学	1	8	●			27	
		口腔生化学	1	9	●			28	
	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	病理学・口腔病理学	2	15	●			29	
		薬理学・歯科薬理学	2	16	●			30	
		微生物学・口腔微生物学	2	15	●			31	
		隣接医学	1	8			●	62	
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	保健生態学	2	15	●			32	
		情報統計学	1	10		●		33	
		衛生学・公衆衛生学	2	15		●		34	
		衛生行政・社会福祉	1	10		●		35	
小 計			22	—	—	—	—		
専門分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	1	8	●			36	
		倫理学	1	8			●	61	
	臨床歯科医学	歯科臨床概論	1	8	●			37	
		歯科保存学(保存)	1	8		●		38	
		歯科保存学(歯内)	1	8	●			39	
		歯科保存学(歯周)	1	14	●	●		40・41	
		歯科補綴学	2	15	●	●		42・43	
		口腔外科学	2	15	●			44	
		小児歯科学	1	14	●	●		45・46	
		歯科矯正学	1	14		●		47	
		歯科放射線学	1	8	●			59	
		歯科材料・薬剤	1	9	●			53	
		臨床検査法	1	10		●		54	
		高齢者歯科学	1	10		●		57	
		障害者歯科学	1	8		●		58	
	歯科予防処置論	歯科予防処置	1	10	●			48	
		実 習	7	—	●	●		—	
	歯科保健指導論	歯科保健指導	1	14	●	●		49・50	
		栄養指導・歯科栄養指導	1	14		●		51	
	歯科診療補助論	実 習	6	—	●	●		—	
		歯科診療補助・受付対応	1	14	●			52	
		医療・保険事務	1	8		●		60	
		看護学	1	10		●		56	
	臨地実習(臨床実習を含む)		20	—	●	●	●	—	
	小 計			62	—	—	—	—	
	選択必須分野	救急処置 介護技術 話し方・生花	一般教養	5	4		●		55
24						●		55	
14					●		●	11・12	
8		●				13～21			
8		●							
8			●						
8			●						
8					●				
小 計			8	—	—	—	—		
合 計			102	—	—	—	—		

生 物 学

【担当者】 吉 岡 寛 **【実務経験】** 高等学校教諭 2 級普通免許 (理科)
【目 的】 専門課程で学ぶ内容の基礎となる項目を中心に高校生物の内容を、基礎から理解・復習する。
【方 法】 講義
【時 期】 第 1 学年 前期
【時 間】 金曜日 9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0
【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「生物学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	6/21	生物の基礎	生物の特徴・生物を作る物質
2	6/28	細胞と組織	細胞の構造・細胞小器官・組織
3	7/12	代謝	酵素・呼吸・A T P
4	7/19	遺伝子と遺伝	遺伝子の構造と働き・ヒトの遺伝
5	9/6	刺激の受容と反応	感覚器・神経系・作動体
6	9/13	体内環境	体液・自律神経・ホルモン・恒常性の維持
7	9/20	生体防御	自然免疫・獲得免疫
8	9/27	生殖と発生	生殖の方法・減数分裂・ヒトの発生

【評価法】 出席点、提出物、小テスト、定期試験を総合して評価する

化 学

【担当者】 北 川 雅 直 **【実務経験】** 高等学校教諭 1 級免許 (理科)
【目 的】 専門課程で学ぶ内容の基礎となる項目を中心に高校化学の内容を、基礎から理解・復習する。
【方 法】 講義
【時 期】 第 1 学年 前期
【時 間】 金曜日 9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0
【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「化学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/12	物質の構成	物質が原子、イオン、分子といった粒子から構成されていることを理解し、粒子の概念を身につける
2	4/19	物質の状態	物質の状態が構成粒子間の距離の違いであることを理解し説明できるようになる
3	4/26	水溶液	溶解現象は溶質粒子が溶媒に拡散することであることを理解し説明できる
4	5/10	化学変化	化学変化が物質の構成粒子の組み替えであることを理解し、変化を化学反応式で表せるようになる
5	5/17	酸とアルカリ	酸、アルカリ、中和などが水素イオンの授受で説明できることを理解し、化学反応式で表すことができるようになる
6	5/24	酸化と還元	酸化と還元が電子の授受で説明できることを理解し、化学反応式で表せるようになる
7	5/31	有機化合物(基礎)	炭素原子を骨格とする化合物を有機化合物と呼ぶこと、多くの有機化合物があることを知る
8	6/7	有機化合物 (ヒトをつくるもの)	生物及びその活動は有機化合物の変化であることを知る

【評価法】 出席点、提出物、小テスト、定期試験を総合して評価する

心 理 学

- 【担当者】 吉 田 いずみ 【実務経験】 修士（心理学）
- 【目 的】 心理学の様々な領域について基本的な知識を身につけ、同時に自分への洞察を深め、生活や仕事の上で役立てることを目的とする。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第1学年 前期～後期
- 【時 間】 1～6回目 金曜日 10：40～12：10
7～14回目 火曜日 13：00～14：30
- 【教科書】 プリント配付

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	7/12	人格心理学	イントロダクション／あなたの性格は？
2	7/19	行動・学習・動機づけ	その行動にはワケがある
3	9/6	記 憶	記憶のしくみ
4	9/13	感 情	情動のみなもと／表情
5	9/20	臨床心理学（1）	ストレスへの対応
6	9/27	臨床心理学（2）	カウンセリング／パーソナリティ障害
7	10/1	社会心理学（1）	社会的認知
8	10/15	社会心理学（2）	自己／社会的影響
9	10/22	社会心理学（3）	他人を説得する技術
10	10/29	発達心理学（1）	心とからだの発達／発達課題
11	11/5	発達心理学（2）	発達障害
12	11/12	天才の脳／児童虐待	大脳半球のメカニズム／虐待とそのケア
13	11/19	うつと心の健康	うつ治療の現在／栄養の影響
14	11/26	知覚心理学	脳が見た世界

- 【評価法】 試験の成績で評価する

英 語

【担当者】 Caroline Lloyd 【実務経験】 Chief Coordinator、Language School
International Kindergarten deputy principal

【目 的】 歯科臨床現場で用いられるフレーズを中心に、基本的な英語表現を学習する。また、様々な題材のリスニングを通して、英語に親しみ、英語に耳を慣らす。

【方 法】 講義

【時 期】 第1学年 前期

【時 間】 金曜日 10:40～12:10

【教科書】 プリント配付

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/12	Introductions / classroom Language	Days, months, greetings
2	4/19	Where are you from?	Countries / places
3	4/26	What time is it?	1-100, time
4	5/10	How much is it?	Money
5	5/17	Yes, no questions	Practicing questions
6	5/24	Open- Ended questions	Wh questions
7	5/31	This / that these / those plurals	Final s / es
8	6/7	Putting it all together	Review

【評価法】 試験の成績で評価する

英 会 話

Hiroshima Dental Hygienist College

Syllabus: English Oral Communication 2023

Instructor: Caroline Lloyd 【実務経験】 Chief Coordinator、Language School

International Kindergarten Deputy Principal

Goal: This course aims to increase the students' English ability and confidence in English, as well as listening skills.

Methodology: Vocabulary test
 Information gap activities
 Role plays
 Listening activities
 Discussion

Semester: First

Time: Tuesday 9:00-10:30

Assessment: Final Test 100%

Grade: Second graders

Unit #	1st	2nd	English conversation skill
1	4/9	6/18	Warm-up, Likes/Dislikes, classroom activity
2	4/16	6/25	Review. Adverbs of frequency
3	4/23	7/9	Tooth brushing techniques and principles
4	4/30	7/16	Future tense - routine
5	5/7	7/23	Dental tools, equipment and procedures
6	5/14	9/3	Clothing and Body parts
7	5/21	9/10	Feeling sick, symptoms, medication
8	5/28	9/17	Have you ever, asking for information

情 報 科 学 I

【担当者】 井野上 一 美 **【実務経験】** 情報処理士
【目 的】 コンピュータの基礎知識を学ぶとともに、医療情報処理技術を習得する。
【方 法】 講演・演習
【時 期】 第1学年 前期～後期
【時 間】 火曜日・木曜日 9：00～12：10
【教科書】 プリント配付

【授業内容・到達目標】

回	前半	後半	項 目	授業内容・到達目標
1	10/1	10/3	情報セキュリティについて Window について知る Word 2013 基礎	インターネットのしくみ セキュリティについて 情報化社会の現状と危険、注意点を知る Windows の基本操作 Word 2013 の基礎知識・文字の入力 口腔内写真編集練習
2				
3	10/15	10/17	Word 2013 基礎	文書の作成 表の作成 文書の編集 表現力をアップする機能 便利な機能
4				
5	10/29	10/31	Excel 2013 基礎	Excel の基礎知識 データの入力 表の作成 数式の入力 複数シートの操作 グラフの作成 データベースの利用 便利な機能
6				
7	11/5	11/7		
8				

【評価法】 試験と講義の出席状況、提出課題から評価する

情 報 科 学 II

【担当者】 井野上 一 美 **【実務経験】** 情報処理士
【目 的】 コンピュータの基礎知識を学ぶとともに、医療情報処理技術を習得する。
【方 法】 講演・演習
【時 期】 第1学年 後期
【時 間】 火曜日・木曜日 9：00～12：10
【教科書】 プリント配付

【授業内容・到達目標】

回	前半	後半	項 目	授業内容・到達目標
1	1/14	1/16	PowerPoint2013 基礎	プレゼンテーションとは Power Point 2013 ・基本をマスター ・表の挿入，編集，デザイン ・グラフの挿入，編集，デザイン ・図形やSmartArtグラフィックの作成 ・写真やワードアートで装飾 ・特殊効果（アニメーション・画面切替効果） ・プレゼンテーションをサポートする機能
2				
3	1/21	1/23		
4				
5	1/28	1/30	Power Point2013	Microsoft Power Point2013 を使った 5 分間プレゼンテーション
6				
7	2/4	2/6	Word2013 応用	図形や図表を使った文書の作成 写真を使った文書の作成 差し込み印刷 文書の校閲 便利な機能 試験のための練習問題
8				

【評価法】 試験と講義の出席状況、提出課題から評価する

コミュニケーション論

【担当者】 重 野 裕 美 【実務経験】（日本学術振興会）特別研究員
中学校教諭専修免許状（国語） 高等学校教諭専修免許状（国語）

中学校教諭専修免許状（国語） 高等学校教諭専修免許状（国語）

【目 的】 コミュニケーションに関する基礎知識を学ぶとともに医療現場に必要なコミュニケーション能力についての理解を深める。

【方 法】 講義

【時 期】 第2学年 前期

【時 間】 水曜日 14:40～16:10

【教科書】 適宜プリントを配付する。

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/10	コミュニケーションとは	医療とコミュニケーションの関係について学ぶ。
2	4/17	日本語のコミュニケーションの特徴	日本語のコミュニケーションの特徴について学ぶ。
3	4/24	医療とことば（１）	敬語の基礎知識について学ぶ。
4	5/1	医療とことば（２）	電話応対・伝達メモ・メール文について学ぶ。
5	5/8	医療とことば（３）	「やさしい日本語」について学ぶ。
6	5/15	医療とことば（４）	医療と方言の関係について学ぶ。
7	5/22	医療現場とコミュニケーション（１）	医療現場におけるコミュニケーションについて学ぶ①
8	5/29	医療現場とコミュニケーション（２）	医療現場におけるコミュニケーションについて学ぶ②

【評価法】 試験・受講態度・提出課題から総合的に評価する

保 健 体 育 （ 1 年 生 ）

- 【担当者】 網師本 真 季 【実務経験】健康運動指導士・介護福祉士
- 【目 的】 健康づくりにおける運動の基本である有酸素運動とはどういったものを体得させ、正しい理論と実践をもとに、自らの健康づくりに向き合う姿勢を確立させることを目的とする。
- 【方 法】 実習
- 【時 期】 第1学年 前期～後期
- 【時 間】 下記のとおり

【授業内容・到達目標】

回	月 日	時 間	項 目	授業内容・到達目標
1	5/22(水)	9:00 ～ 10:30	正しい姿勢・歩き方	正しい姿勢と正しい歩き方と習得させる
2	6/19(水)	9:00 ～ 10:30	ストレッチ	ストレッチの目的及び効果を習得させる
3	7/10(水)	9:00 ～ 10:30	身体動作の基本 I	身体動作の基本を習得させ、日常生活の見直しを図る
4	9/11(水)	9:00 ～ 10:30	正しい動き	ラジオ体操を中心に、正しい動きを習得させる
5	10/30(水)	10:40 ～ 12:10	身体動作の基本 II	動作分析ができるチェック法を習得させる
6	11/29(金)	9:00 ～ 10:30	エアロビックダンス I	有酸素運動理論と基本的なステップを習得させる
7	1/10(金)	9:00 ～ 10:30	エアロビックダンス II	基本的ステップと動きのバリエーションを習得させる
8	2/5(水)	10:40 ～ 12:10	エアロビックダンス III	プログラム構成と応用ステップを習得させる

- 【評価法】 授業態度で評価する

保 健 体 育 （ 2 年 生 ）

【担当者】 網師本 真 季 【実務経験】健康運動指導士・介護福祉士

【目 的】 生活や健康に役立つ体力とは何か積極的に考え、体力づくりの基礎となる有酸素運動の理論をもとに、身近で誰もが楽しめるエアロビックダンスおよびジャズダンスを含めたプログラムを実施し、自らの健康づくりが正しい理論のもとに実践できる能力を養うことを目的とする。

【方 法】 実習

【時 期】 第2学年 前期～後期

【時 間】 下記のとおり

【授業内容・到達目標】

回	月 日	時 間	項 目	授業内容・到達目標
1	4/15(月)	9:00 ～ 10:30	エアロビックダンス IV	エアロビックダンスの効果をメンタル面で体感させる
2	5/14(火)	10:40 ～ 12:10	さまざまなリズムダンス I	エアロビクスの要素を含んだジャズ系リズムダンスを体得させる
3	6/18(火)	10:40 ～ 12:10	さまざまなリズムダンス II	エアロビクスの要素を含んだジャズ系リズムを体得させる
4	9/6(金)	9:00 ～ 10:30	さまざまなリズムダンス III	ジャズダンスを体得させる
5	9/30(月)	10:40 ～ 12:10	筋肉トレーニング I およびジャズダンス	筋肉トレーニング理論の基本を理解させ実践を体得させるとともにジャズダンスのフォーメーションを学ぶ
6	11/15(金)	9:00 ～ 10:30	筋肉トレーニング II およびジャズダンス	
7	1/15(水)	9:00 ～ 10:30	ジャズダンスまとめ	ジャズダンスプログラムのグループ別発表
8	2/13(木)	9:00 ～ 10:30		

【評価法】 授業態度で評価する

話 し 方

【担当者】 大 浦 公 子 **【実務経験】** 話し方教室主宰・電話交換手取扱者認定証
【目 的】 歯科衛生士としてふさわしい言葉遣いやマナーを体得する。
【方 法】 講義・実習
【時 期】 第1学年 前期
【時 間】 水曜日 14：40～16：10
【教科書】 プリント配付

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	5/22	日本のことばは美しい言葉 コロナ禍で変化したコミュニケーション	自己紹介（全員） 挨拶で人間関係が変わる コロナ禍で変わったコミュニケーション
2	5/29	第一印象で貴女は決まる	7秒→3秒→0秒 立居振舞は見られている チェックと改善
3	6/5	発声練習（スピーチ）	正しい口の開け方、呼吸法、お口の体操、 スピーチ（壇上に上がって全体を見る）
4	6/19	話の上手な聞き方 メンタルの整え方（スピーチ）	相手の気持ちを理解する。相手の心を開く「聴く」 （スピーチ者の話をしっかり聴く）
5	6/26	スピーチの話の組み立て方 （考えすぎずまずは話す）	全員、何でも良いから話を組み立てて話そう
6	7/10	敬語は慣れ（スピーチ）	敬語を学んで使いましょう。スピーチの練習
7	7/17	スピーチ発表に向けて	全員フリーテーマで話をしましょう（1分） 発表会のテーマ決め
8	7/24	スピーチ発表	一人1分間スピーチ：テーマ「……」 優秀な方を選出します

【評価法】 授業態度(実践も加えて) で評価する

生 花

【担当者】 鍵 本 志 乃 **【実務経験】** 華道池坊師範科・高等学校教諭 1 級普通免許（美術・工芸）
【目 的】 心を癒してくれるフラワーアレンジメントを学んでもらう。
【方 法】 実習
【時 期】 第 3 学年 前期
【時 間】 月曜日 10：40～12：10

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/22	花の扱い方基本	花の扱い方の説明と簡単なフラワーアレンジ
2	5/13	いけばなの基本形	季節の花を使っていけばなの基本形（盛り花）を学びます
3	5/20	フラワーアレンジ基本形	色々な形のアレンジの説明と実習
4	5/27	いけばな自由形	線・面・点・色彩を生かした自由花
5	6/3	プリザーブドフラワー	プリザーブドフラワーアレンジの基本と扱い方
6	6/10	アーティフィシャルフラワー	アーティフィシャルフラワーの壁飾り

【評価法】 講義の出席状況、授業態度で評価する

一 般 教 養 （ 書 道 ）

【担当者】 永 田 悦 子 **【実務経験】** 読売書法展理事・広島日展会会員・日本書芸院一科審査員
【目 的】 書道(ペン書き)を通じて教養の向上
【方 法】 練習・講義
【時 期】 第1, 2, 3学年 前期
【時 間】 月曜日 14:40～16:10

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	5/13	筆記用具の種類	用具による持ち方の相違
2	5/20	基本の点・画	鉛筆・筆ペンによる美しい姓名
3	5/27	楷 書	文字の姿
4	6/17	横書き	美しく見えるには
5	6/24	行 書	続け書き
6	7/8	縦書き	流れの美しさ
7	9/2	筆ペン	のし袋等の表書き、決まり
8	9/9	まとめ	はがき・封書の表書きの要点

【評価法】 小テスト試験と授業態度で評価する

一 般 教 養 （ 茶 道 ）

- 【担当者】 中 曾 昌 子 【実務経験】 裏千家 名誉師範・学校茶道指導者適格者証
- 【目 的】 人間関係の大切さを学び，社会生活を営む上でのルールやマナーを自然と身につけ，季節のうつろいを感じ心のゆとりを得る。
- 【方 法】 実技と講義
- 【時 期】 第1，2，3学年 前期
- 【時 間】 月曜日 14：40～16：10
- 【教科書】 学校茶道 初級編 （財）今日庵出版

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	5/13	茶道のころ	講 義・お茶をいただく
2	5/20	茶道の基礎知識	講 義・実 技
3	5/27	〃	〃
4	6/17	〃	〃
5	6/24	〃	〃
6	7/8	〃	〃
7	9/2	〃	〃
8	9/9	〃	〃

- 【評価法】 授業態度と実技で評価する

一 般 教 養 （ カラーコーディネート ）

【担当者】 久 芳 奈 苗 【実務経験】 1級パーソナルカラリスト

【目 的】 色を「正しく」「効果的に」使う事ができるようにする。

【方 法】 講義 課題（カラーカード使用の演習）

【時 期】 第1，2，3学年 前期

【時 間】 月曜日 14：40～16：10

【教科書】 日本色研事業（株）

はじめてのカラーハンドブックカラー&ライフ，新配色カード199 a，ワークペーパー262

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	5/13	色とは	色の性質をよく理解する
2	5/20	色のしくみ	色の種類と性質・トーン
3	5/27	配色のルール	配色の基本的なパターン・色彩調和
4	6/17	色の心理効果	色彩心理 顔タイプ分析
5	6/24	ファッションカラー	パーソナルカラー
6	7/8	ファッションカラー	パーソナルカラー活用術
7	9/2	ファッションカラー	配色のテクニック
8	9/9	色彩と生活	衣・食・住の色彩 環境の色彩 まとめ

【評価法】 授業態度と提出課題で評価する

一 般 教 養 （ メディカルアロマ ）

【担当者】 真 田 千奈美 **【実務経験】** 日本メディカルアロマセラピー協会認定スペシャリスト
【目 的】 自分の健康管理
【方 法】 講義と実践
【時 期】 第1, 2, 3学年 前期
【時 間】 月曜日 14:40～16:10

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	5/13	メディカルアロマ基礎知識	メディカルアロマセラピーの基礎 精油の選び方や抽出方法、口腔ケア ＊メディカルアロマの基礎知識が学べる
2	5/20	精油の考え方	体質判断（東洋医学的処方）を使った考え方 ラベンダーの違いについて知る ＊精油について学べる
3	5/27	皮膚の構造	皮膚の構造と経皮吸収を知り、メディカルアロマで基礎化粧品の 基材・作用や使い方学ぶ ＊ローション作りができる
4	6/17	コスメ	化粧品（コスメ）の知識や基材を学ぶ ファンデーションの作り方をデモンストレーション ＊コスメを自分で作ることができる
5	6/24	香 道	かおりを数種類嗅ぎ、名前を当てる ＊香りの好き・嫌いや記憶との結びつきを知ることができる
6	7/8	日常生活への取り入れ方	芳香浴、バスボム、石鹸、湿布、虫よけスプレー ＊香りを上手に生活に活かす方法を学ぶ
7	9/2	ストレスについて	ストレスによるさまざまな疾患を学び、ストレスケアの精油を考える ＊ストレスケアの方法を学ぶ
8	9/9	ハンドマッサージ	ハンドマッサージ手技と施術の流れを練習 ＊ハンドマッサージの施術を取得

【評価法】 講義の出席状況と授業態度で評価する

一 般 教 養 (ラ ッ ピ ン グ)

- 【担当者】 中 川 良 恵 【実務経験】(株)ラッピング協会ラッピング講師
- 【目 的】 生活に彩りを与えるラッピングの世界に触れ、贈り物を自分で包める楽しさと贈り物に関するマナーを身に付ける。
- 【方 法】 講義（実技あり）
- 【時 期】 第1，2，3学年 前期 第1，2学年 前期～後期
- 【時 間】 月曜日 14：40～16：10
- 【教科書】 必要に応じてプリント配付

【授業内容・到達目標】

回	月 日		項 目	授業内容・到達目標
1	5/13	9/30	基礎① リボンテクニック①	(前期) 映えるリボンの結び方とプチギフト (後期) "
2	5/20	10/21	基礎② リボンテクニック②	(前期) シンプルギフトラッピング (後期) "
3	5/27	10/28	基礎③ リボンテクニック③	(前期) 父の日のラッピング (後期) ハロウィンのラッピングとスイーツラッピング
4	6/17	11/11	基礎④ リボンテクニック④	(前期) ブライダルラッピングと贈り物のマナー (後期) "
5	6/24	11/18	応用①	(前期) 和風ギフトラッピング (後期) "
6	7/8	11/25	応用②	(前期) 人気 NO. 1！ギフトラッピング (後期) "
7	9/2	12/2	応用③	(前期) 華やかボトルラッピングとオーナメントの作り方 (後期) "
8	9/9	12/9	応用④	(前期) 実用スイーツラッピング (後期) クリスマスラッピング

- 【評価法】 講義の出席状況、授業態度、レポートなどから評価する

一 般 教 養 （ メイクアップ ）

【担当者】 濱 本 有 紀 **【実務経験】** 皮膚生理学・パーソナルカラー診断アドバンス
【目 的】 医療人にふさわしいメイク・スキンケアを学ぶ
【方 法】 資料に沿って講義・実習形式
【時 期】 第1, 2 学年 前期～後期
【時 間】 月曜日 14:40～16:10

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	9/30	ベースメイク・スキンケアについて	オリエンテーション スキンケア・メイク（ベース）目的
2	10/21	肌タイプ・お悩み別スキンケア	肌のしくみ・スキンケアの実践 お悩みとメイクの関係
3	10/28	ベースメイク	基本的技術（実習形式）・ベースメイクの種類、選び方
4	11/11	眉メイク	整え方・書き方 個別レッスン
5	11/18	ポイントメイク① eyeメイク	好感持たれるeyeメイク（実習形式）
6	11/25	ポイントメイク② チーク・ハイライト・リップ	印象upメイク（実習形式）
7	12/2	ポイントメイク③ バランス	ゴールデンバランス等（実習形式）
8	12/9	総復習	自分にあわせたスキンケア・メイク 個別にレッスン・反省・感想

【評価法】 講義の出席状況と授業態度で評価する

一 般 教 養 （ 手 話 ）

- 【担当者】 那 須 美 織 【実務経験】 手話講座指導講師登録
- 【目 的】 聴覚障害者の基礎知識とコミュニケーションについての理解を深めることを目的とする。
- 【方 法】 手話による講義・実技
- 【時 期】 第1, 2 学年 前期～後期
- 【時 間】 月曜日 14:40～16:10
- 【教科書】 聞こえない人とのコミュニケーション冊子

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	9/30	講義	聞こえない人とのコミュニケーション冊子, 日常生活用具について
2	10/21	実 技	名前の表し方, 家族, 受付対応表現, 指文字
3	10/28	実 技	誕生日, 時間, 趣味, 数字, 指文字
4	11/11	実 技	数字の表し方, 診察での会話, 指文字
5	11/18	実技・小テスト	小テスト(読み取りテスト), 仕事について
6	11/25	実 技	住所の表し方, 1ヶ月のことを話しましょう
7	12/2	実 技	1年のことを話しかけてみましょう
8	12/9	まとめ	まとめ

- 【評価法】 テストと授業態度を総合して評価をする

一 般 教 養 （ 韓 国 語 ）

【担当者】 李 菊 枝 **【実務経験】** 外語学院韓国語講師
【目 的】 韓国語の読み書き及び基本的会話を身につける。
【方 法】 主教材と副教材を使って、ネイティブの講師による対話形式で進む
【時 期】 第1, 2 学年 前期～後期
【時 間】 月曜日 14:40～16:10
【教科書】 「基礎から学ぶ韓国語講座」 木内 明 著 国書刊行会

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	9/30	韓国語の紹介・基本母音	韓国についての関心を持ち、韓国語の基本母音を習得する
2	10/21	基本子音・基本子音と基本母音の組み合わせ	基本子音を習得し、基本母音との組み合わせで読む方法を身につける
3	10/28	福合母音	基本母音の2つ以上の組み合わせを読むことができるようにする
4	11/11	バッチム	子音+母音+子音の型の文字の読み方の方法を学ぶ
5	11/18	自己紹介	初めに会った人と挨拶を交わし、自己紹介ができるようにする
6	11/25	疑問形	基本的な質問ができるようにする
7	12/2	韓国文化の体験	映画や音楽鑑賞等を通じて、韓国文化を理解する
8	12/9	応用できる韓国語	以降韓国語に引き続き挑戦したいと思ったとき、応用できる幅広いコツを身につける

【評価法】 授業態度や宿題、及び課題の提出

一 般 教 養 （ デ ッ サ ン ）

【担当者】 今 田 史 朗 【実務経験】 美術科講師

【目 的】 観察，表現力を養う。

【方 法】 実技

【時 期】 第1，2 学年 前期～後期

【時 間】 月曜日 14：40～16：10

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	9/30	手を描く	鉛筆とスケッチブックを使いよく観察して描く
2	10/21	自分の靴を描く	〃
3	10/28	リンゴを描く	〃
4	11/11	水を入れたコップを描く	〃
5	11/18	花を描く	〃
6	11/25	ピーマンを描く	〃
7	12/2	さつまいもを描く	〃
8	12/9	自分を描く	〃

【評価法】 提出作品にて評価

解 剖 学（ 系 統 ）

【担当者】 菊 地 伸 仁 **【実務経験】** 歯科医師
【目 的】 人体の組み立て、働きなど、この問題を主に構造の面から理解することを目的とする。
【方 法】 講義
【時 期】 第1学年 前期
【時 間】 水曜日 13:00～14:30
【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「解剖学・組織発生学・生理学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/10	系統解剖総論	解剖とは、口腔解剖とは、人体の外形と区分（体幹・顔の区分）
2	4/17	骨格系	概説 （機能・構造・形態・発生成長・結合・体の部位による骨の分類）
3	4/24	骨格系	頭蓋骨，体幹骨，上肢骨，下肢骨
4	5/1	筋 系	概説（筋の構造・形による分類・付着部による分類・運動方向による分類・補助装置）
5	5/8	筋 系	各部位の筋系（頭部・頸部・胸部・腹部・背部）
6	5/15	内 臓	概説（消化の吸収の意識）、口腔、食道
7	5/22	内 臓	胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜
8	5/29	呼吸・泌尿	外鼻、鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、肺、腎臓、尿管、膀胱
9	6/5	性殖・内分泌	生殖器、内分泌腺の概要、下垂体、甲状腺、上皮小体、胸腺性腺、副腎
10	6/19	脈 管	血管系、心臓、動脈系
11	6/26	脈 管	静脈系、胎児の循環系、リンパ系、脾臓
12	7/10	神 経	概要、構成、中枢神経系、脳脊髄膜
13	7/17	神 経	脳の血管、末梢神経系、神経系のおもな伝導路
14	7/24	感覚器	概要、視覚器、平衡聴覚器、味覚器、嗅覚器、外皮
15	9/4	まとめ	

【評価法】 試験の成績で評価する

解 剖 学（組 織 発 生）

- 【担当者】 是 永 佳 成 【実務経験】 歯科医師
- 【目 的】 口腔組織について、それぞれの名称・発生・働きなどを詳細に学ぶ。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第1学年 前期
- 【時 間】 木曜日 14:40～16:10
- 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「解剖学・組織発生学・生理学」
医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」
スライド

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/11	総 論	総論
2	4/18	一般組織・発生	細胞、組織、精子と卵子の発生、染色体、受精と着床、胚葉の形成、胎児の形成、骨の発生
3	4/25	顔面と口腔の発生	顔面の形成、口蓋の形成、下顎骨および顎関節の形成、舌の発生、舌乳頭の発生、唾液腺の発生、下垂体の発生、甲状腺の発生、さい原器官の発生、歯と歯周組織の発生
4	5/2	〃	〃
5	5/9	〃	〃
6	5/16	〃	〃
7	5/23	萌出、歯周病	萌出時期、萌出機序、臨床的考察
8	5/30	総まとめ	本試験に臨んで今までの理解度の確認

- 【評価法】 試験の成績と講義の出席状況から評価する

口 腔 組 織 学

- 【担当者】 是 永 佳 成 【実務経験】 歯科医師
- 【目 的】 口腔組織について、それぞれの名称・発生・働きなどを詳細に学ぶ。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第1学年 前期
- 【時 間】 木曜日 14:40～16:10
- 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「解剖学・組織発生学・生理学」
医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」
スライド

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	6/6	総 論	総論
2	6/20	エナメル質	性状、構造、その他の構造物
3	6/27	象牙質	概略、性状、構造、第二象牙質、臨床的考察、比較解剖
4	7/11	歯 髄	概略、組織構造、機能、加齢的变化、比較解剖
5	7/18	復習・小テスト	エナメル質、象牙質、歯髄について理解度を確認
6	9/5	セメント質	概略、構造、機能、加齢的变化、臨床的考察
7	9/12	歯根膜・歯槽骨	概略、厚さ、構造
8	9/19	歯 肉	特徴、上皮、固有層、歯肉溝、加齢的推移と臨床的考察

- 【評価法】 試験の成績と講義の出席状況から評価する

生 理 学

- 【担当者】 山 本 道 直 【実務経験】 歯科医師
- 【目 的】 正常な機能をつかさどる生体のメカニズムを理解させ、それによって病気の本体や治療・予防についても理解させること。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第1学年 前期
- 【時 間】 月曜日 13:00～14:30 [6回目のみ 水曜日 9:00～10:30]
- 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「解剖学・組織発生学・生理学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/15	生理学を学ぶことの大切さ	生理学とはなにか、生理学のあゆみ、細胞の構造、基本的機能
2	5/13	血液、循環	血液の成分・働き、止血と血液の凝固、線溶、出血傾向、血液型と輸血、心臓の構造と働き、自動能、心電図、血管の機能、リンパ循環、ショック、小テスト
3	5/20	呼吸、筋	呼吸運動、構成、仕組み、肺気量と換気量、ガス交換、酸素の運搬、呼吸の調節、筋の種類と機能、骨格筋、骨格筋の収縮様式、筋電図、筋収縮の仕組み、筋の疲労、心筋、平滑筋、小テスト
4	5/27	神経、感覚	分布の概要、基本的機能、体性神経、自律神経、中枢神経、感覚の基
5	6/3		
6	6/5	消化と吸収、排泄	意味、胃の働き、小腸の働き、大腸の働き、排便、発汗、排尿、小テスト
7	6/17	体温、内分泌	体熱の生産、放散、体温の調節、変動、内分泌器官とホルモン、甲状腺と上皮小体、下垂体と視床下部、副腎、膵臓、唾液腺、その他のホルモン、歯とホルモン、小テスト
8	6/24	生殖	女性の生殖機能、性周期、受精と妊娠、分娩と乳汁分泌、全体のまとめ

- 【評価法】 試験の成績と授業態度、小テストの成績で評価する

口 腔 解 剖 学

- 【担当者】 橋 本 佳 子 【実務経験】 歯科医師
 【目 的】 解剖学を通じ、日常臨床でおこる出来事を科学的に考察できるようにする。
 【方 法】 講義
 【時 期】 第1学年 前期
 【時 間】 火曜日 14：40～16：10
 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」
 学建書院 「口腔顎顔面解剖ノート」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/16	口腔とその周囲の解剖学	口腔とは
2	4/23	歯の形態	歯の解剖学総論
3	4/30	歯の形態	永久歯
4	5/7	歯の形態	乳歯
5	5/14	歯の形態	歯の異常、歯列と咬合
6	5/21	骨	口腔を構成する骨
7	6/4	筋肉	頭頸部の筋と作用
8	6/18	復習	前半の復習
9	6/25	顎関節	顎関節
10	7/9	口腔周囲の脈管	動脈系、静脈系
11	7/16	口腔周囲の脈管	リンパ系
12	7/23	神経	三叉神経 他
13	9/3	唾液腺、咽頭と喉頭の構造	大唾液腺 他
14	9/10	歯牙解剖全般	解剖のまとめ
15	9/17	テスト前復習	

【評価法】 試験の成績で評価する

口 腔 生 理 学

【担当者】 八 谷 文 貴 【実務経験】 歯科医師

【目 的】 正常な機能をつかさどる生体のメカニズムを理解させ、それによって病気の本体や治療・予防についても理解させること。

【方 法】 講義

【時 期】 第1学年 前期

【時 間】 月曜日 13:00～14:30 [2・6・7回目 水曜日 9:00～10:30]

【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	7/8	歯・口腔、顔面の感覚	歯・口腔、顔面の感覚について（P. 192～199）
2	7/17	味覚と嗅覚	味覚と嗅覚について（P. 200～212）
3	7/22	咬合と咀嚼・吸啜	咬合と咀嚼・吸啜について（P. 213～240）
4	9/2	嚥下と嘔吐（第一回）	嚥下（総論、正常な嚥下）について（P. 233～240）
5	9/9	嚥下と嘔吐（第二回）	嚥下（異常な嚥下と摂食嚥下障害）について（P. 241） 嘔吐について（P. 242～247）
6	9/18	発声・発語	発声・発語について（P. 248～259）
7	9/25	唾液	唾液について（P. 260～270）
8	9/30	まとめ	講義内容全範囲（P. 192～270）

【評価法】 試験の成績と授業態度で総合評価する。

口 腔 生 化 学

【担当者】 笛 吹 恵美子 【実務経験】 歯科医師

【目 的】 生命現象を化学的に理解するために、生体の構成成分、生体の化学反応（代謝等）について学ぶ。
又、歯科の専門分野である口腔領域の組織、成分や石灰化機構について学び、う蝕・歯周炎・
プラーク・歯石について生化学的に理解する事を目的とする。
口腔領域における最新先端医療についても生化学的見地から紹介する。

【方 法】 講義

【時 期】 第1学年 前期～後期

【時 間】 水曜日 13:00～14:30

【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「栄養と代謝」
プリント

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	9/11	概論・生体の化学反応	生体の構成要素・化学反応
2	9/18	代謝Ⅰ	糖質の代謝
3	9/25	代謝Ⅱ	脂質とタンパク質の代謝
4	10/2	恒常性・総括（前半）	前半まとめ・中間試験
5	10/23	歯と歯周組織	歯と結合組織を形成する成分
6	10/30	硬組織の生化学	石灰化の機構
7	11/6	唾液の生化学	唾液中の成分と機能
8	11/20	プラークの生化学	プラークの生成機序と作用
9	11/27	免疫・総括（後半）	免疫細胞と生体防御機構

【評価法】 試験の成績で評価する（中間試験と本試験）

病 理 学 ・ 口 腔 病 理 学

【担当者】 北川 雅恵 **【実務経験】** 歯科医師
【目 的】 病理学の概念を教え、諸疾患の一般的概念を理解する。
【方 法】 講義
【時 期】 第1学年 前期～後期
【時 間】 金曜日 13:00～14:30
【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「病理学・口腔病理学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	5/10	病理学序論・病因論	病理学とは、内因・外因
2	5/31	遺伝性疾患と先天異常	遺伝性疾患
3	6/7	循環障害	循環障害
4	6/21	代謝障害と退行性病変	代謝障害、変性、萎縮、壊死
5	6/28	増殖と修復	肥大、増生、化生、再生、修復、創傷治癒、異物処理
6	9/6	炎症	炎症
7	9/13	免疫応答異常	免疫応答、自己免疫疾患
8	9/20	腫瘍	腫瘍の発生、種類、性質、診断
9	9/27	歯の発育異常、歯の損傷	歯の発育異常、歯の損傷、歯の着色・付着物
10	10/4	う蝕	う蝕
11	10/18	象牙質・歯髄複合体の病態	象牙質・歯髄複合体の病変
12	10/25	歯周組織の病態	歯周組織の病変
13	11/1	口腔粘膜の病変、嚢胞、腫瘍	口腔粘膜の病変、口腔領域の嚢胞と腫瘍
14	11/8	口腔癌、顎骨の病変	口腔癌、顎骨の病変
15	11/22	唾液腺の病変、形成異常など	唾液腺の病変、口腔領域の形成異常、加齢変化

【評価法】 試験の成績で評価する

薬 理 学 ・ 歯 科 薬 理 学

【担当者】 小 松 大 造 【実務経験】 歯科医師

【目 的】 薬理学の基礎を理解させるとともに、歯科衛生士に必須不可欠な薬品の知識、使用目的、使用方法等について習得させる。

【方 法】 講義

【時 期】 第1学年 前期～後期

【時 間】 水曜日 14:40～16:10

【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「薬理学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	9/4	総論・Ⅰ編 第1章	授業の進め方と受け方について、総論
2	9/11	Ⅰ編 第2・3章	総論
3	9/18	Ⅰ編 第4・5章	総論
4	9/25	Ⅰ編 第6・7・8章	総論
5	10/2	Ⅱ編 第2・3章	中枢神経系と薬、末梢神経系と薬①
6	10/23	Ⅱ編 第3・4章	末梢神経系と薬②、循環器系と薬
7	10/30	Ⅱ編 第1・8・11章	ビタミン・ホルモンと薬、血液と薬、代謝性疾患治療薬
8	11/6	Ⅱ編 第5・7・6章	腎臓に作用する薬物、消化器系に作用する薬物 呼吸器系に作用する薬物（試験範囲確認）
9	11/20	Ⅱ編 第13・14章	痛みと薬、局所麻酔薬
10	1/8	Ⅱ編 第9・12章	免疫と薬、炎症と薬
11	1/15	Ⅱ編 第15・10章	抗感染症薬、悪性腫瘍と薬
12	1/22	Ⅱ編 第16章	消毒に使用する薬
13	1/29	Ⅱ編 第17・18・19章	う蝕予防薬、歯内療法薬、歯周疾患治療薬
14	2/5	Ⅱ編 第17・18・19章	う蝕予防薬、歯内療法薬、歯周疾患治療薬
15	2/12	Ⅱ編 第20・21章	顎・口腔粘膜疾患と薬、漢方医学と薬物
16	2/19	まとめ	これまでの教科書と小テストについてのおさらい

【評価法】 小テストと試験、講義の出席状況および授業態度を総合して評価をする

微 生 物 学 ・ 口 腔 微 生 物 学

- 【担当者】 山 根 一 芳 【実務経験】 歯科医師
- 【目 的】 人体を取り巻く環境に存在する数多くの微生物についての基礎的な知識を身につける。
感染症の発症機序と、それに抵抗するために備わっている生体防御機構を理解することで、
う蝕、歯周疾患などの口腔感染症の予防、治療について造詣を深めることを目的とする。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第1学年 前期～後期
- 【時 間】 木曜日 13:00～14:30
- 【教科書】 クインテッセンス出版 新・歯科衛生士教育マニュアル「微生物学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	6/20	微生物のプロフィール	病原微生物の分類 病原微生物を分類する
2	6/27	微生物のプロフィール	細菌の基本構造 細菌の基本構造を説明する
3	7/11	微生物のプロフィール	細菌の増殖と培養、観察 細菌の増殖と培養法について説明する
4	7/18	さまざまな病原微生物と疾患	ヒトに病気を起こす主な原虫、真菌 ヒトに病気を起こす主な原虫、真菌を列挙する
5	9/5	さまざまな病原微生物と疾患	ヒトに病気を起こす主な細菌 ヒトに病気を起こす主な細菌を列挙する
6	9/12	さまざまな病原微生物と疾患	ヒトに病気を起こす主なウイルス ヒトに病気を起こす主なウイルスを列挙する
7	9/19	感染と発症	感染の成立、微生物の病原性 感染の成立、微生物の病原性を説明する
8	9/26	感染と発症	感染症の治療（化学療法薬） 化学療法薬の作用機序と、耐性化のメカニズムを説明する
9	10/3	免疫	免疫応答、自然免疫 免疫応答を説明する 自然免疫機構を説明する
10	10/17	免疫	獲得免疫、アレルギー、ワクチン 適応免疫機構を説明する アレルギーの発生机序を説明する
11	10/24	口腔環境と常在微生物	口腔環境と常在菌（叢）、プラーク（バイオフィーム） 口腔常在菌（叢）の作用を説明する プラークの形成過程を説明する
12	10/31	口腔感染症学	齲蝕、齲蝕継発疾患 齲蝕の発生机序を説明する
13	11/7	口腔感染症学	歯周病、その他の口腔感染症 歯周病原細菌の性質を説明する
14	11/14	院内感染の防止	院内感染 歯科における院内感染防止策を説明する
15	11/28	院内感染の防止	滅菌・消毒 滅菌法、消毒法を列挙し、それぞれの特徴を説明する

【評価法】 試験の成績で評価する

保 健 生 態 学

【担当者】 河 原 和 子 【実務経験】 大学歯学部非常勤講師・博士（歯学）

【目 的】 歯・口の機能は咀嚼に留まらず多様であり，口以外の器官の発達や機能とも関係する。また，歯・口の疾患や衛生状態は，全身疾患にも影響する。本講義では，歯・口腔の健康増進と疾患の予防に関する理論と方法を追求する。

【方 法】 講義

【時 期】 第1学年 前期

【時 間】 水曜日 10：40～12：10

【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「保健生態学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	5/1	保健活動の重要な概念 口腔の健康保持と疾患予防	口腔の健康の定義、ヘルスプロモーションとは 3種のケア、予防アプローチの方法
2	5/8	歯の構造と成分 口腔の軟組織	乳歯と永久歯・・・歯の種類と本数，相違点 主要な歯式 粘膜の構造
3	5/15	歯・口腔の発育	歯の形成と萌出、歯の異常、顎骨の発育と食育
4	5/22	歯・口腔組織の健康に影響する 栄養素	必要な栄養素と欠乏による異常 健康増進目的の特殊食品、食品による健康被害情報の調べ方
5	5/29	健康な歯・口腔の全身との 関わり	咀嚼・・・口腔における意義、口腔以外の器官に対する意義 口腔の果す飲食以外の役割
6	6/5	唾液腺と唾液の働き 唾液の働き（抗菌作用以外）	唾液腺の種類と唾液の性状、唾液腺の開口部位 唾液の口腔での働き・・・自浄・緩衝・再石灰化作用その他
7	6/19	口腔の感染防御 1	非特異的感染防御・・・唾液中の抗菌成分と産生細胞 自然免疫と関連細胞
8	6/26	口腔の感染防御 2	特異的感染防御・・・液性免疫・細胞免疫 腸管免疫との関わり
9	7/10	歯・口腔の付着物・沈着物	バイオフィルムとプラーク、ペリクル、歯石、舌苔 ・・・症状・疾患との関わり、除去方法
10	7/17	う 蝕 1	う蝕の直接原因、う蝕の進行・・・初期う蝕，う蝕円錐 萌出後の歯の特徴とう蝕感受性、う蝕の予防段階
11	7/24	う 蝕 2	う蝕の間接的要因・・・飲食行動、社会環境要因 う蝕の指数、う蝕罹患型 日本におけるう蝕の疫学－歯周病の疫学
12	9/4	歯周疾患 1	健康な歯周組織の構造、歯周疾患の進行と組織構造の変化 歯周疾患の予防段階
13	9/11	歯周疾患 2	歯周疾患の検査 PMA、CPI 歯周病菌の組合せ
14	9/18	口腔衛生・口腔疾患と全身疾患 との関わり	歯周病と循環器系生活習慣病の関係 口腔衛生が影響する生活習慣病以外の疾患
15	9/25	その他の口腔疾患・異常 全身疾患による口腔内症状	口腔癌、口臭症、口内炎 白血球他、治療薬による口腔関連の副作用

【評価法】 試験の成績と講義の出席状況から評価する

情 報 統 計 学

- 【担当者】 河 原 和 子 【実務経験】 大学歯学部非常勤講師・博士（歯学）
- 【目 的】 疫学を理解すると共に、基本的な統計処理が出来ることを目標とする。
これら課題解決の学習を通して、自分の理解の整理、ひとへの説明、文章作成など、歯科衛生士が必要とする論理的思考を養う。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第2学年 前期
- 【時 間】 火曜日 14：40～16：10
- 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「保健情報統計学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/9	ガイダンス 保健情報、保健統計	保健統計学の目的、個人情報と保護、EBM 歯科保健に関係の深い国家統計調査
2	4/16	[疫学1] 方法論	疫学の目的、データの特徴、因果関係の判定基準 母集団と標本抽出、調査・研究方法の種類
3	4/23	[疫学2] 疫学指標	口腔保健の指標、有病率、罹患率、累積罹患率 曝露と非曝露の疾病発生頻度の比較・・・リスク比、オッズ比
4	4/30	[疫学3]スクリーニング検査 ★クロス集計表	目的、検査方法の評価・・・感度と特異度 受診者における検査結果・・・適中度、偽陰性／偽陽性
5	5/7	統計の基礎知識 〔1〕記述統計	尺度・・・データの性格の分類 尺度と代表値・・・データの中心傾向の指標および散らばり度
6	6/14	〔2〕推計統計 ・・・検定	仮説検定とは 検定の手順（帰無仮説、対立仮説） 有意差の判定・・・確率（有意水準、p 値）
7	7/21	2つの測定データ（＝連続尺度で 正規分布）に対する検定	3種類の t 検定の選択法 データの要件・・・関連のあるデータ（一対のデータ） 関連のないデータ
8	7/9	2つの変量間の関係の強さを 調べる 相関分析	データの要件、相関係数、無相関の検定、擬似相関
9	9/3	数えるデータ（人数、ヶ数など 度数）を扱う検定 ★クロス集計表	カイ2乗独立性の検定・・・目的、結果の解釈 計算方法の概略
10	9/10	歯・口腔の指標、演習	

【評価法】 試験の成績と講義の出席状況から評価する

衛 生 学 ・ 公 衆 衛 生 学

- 【担当者】 前 田 羊 一 ・ 鈴 木 良 貴 【実務経験】 歯科医師
- 【目 的】 健康に対する一般教養を身につけ、質の高い歯科衛生士を目指す。また、公衆衛生学の概念を教え公衆衛生活動の基本的な知識について理解させることを目的とする。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第2学年 前期
- 【時 間】 衛生学 木曜日 13:00～14:30
公衆衛生学 木曜日 10:40～12:10
- 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「保健生態学」

【授業内容・到達目標】

○衛生学 [担当：前田 羊一]

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	5/30	1 章「総論」	保健生態学とは、健康の概念、予防医学の概念
2	6/20	2 章「疫学」	疫学の定義および概要、疫学の方法
3	6/27	3 章「人口」	人口の動向、人口の動態統計、生命表
4	7/11	4 章「健康と環境」	環境の概念、空気・水と健康、放射線と健康、住居・衣服と健康
5	7/18	4 章「健康と環境」	地球環境の変化と健康への影響、公害と健康への影響、廃棄物処理
6	7/25	5 章「感染症」	感染症の成り立ち、感染症の予防、主な感染症の動向
7	9/12	6 章「食品と健康」	食品保健、栄養と健康

○公衆衛生学 [担当：鈴木 良貴]

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
8	5/30	Ⅲ編 健康に関わる地域の役割 1 章 地域保健・公衆衛生	地域保健対策の基本的考え方・現状 組織の仕組み・特徴
9	6/20	1 章 地域保健・公衆衛生 9 章 国際保健	ヘルスプロモーション、地域保健の基本的な進め方 世界の健康問題、新型コロナ感染症、WHO
10	6/27	8 章 災害時の歯科保健 7 章 精神保健	大規模災害時の保健医療 精神保健の定義、現状と課題
11	7/11	6 章 老人（高齢者）保健	高齢者の保健対策 老人保健事業、地域支援事業と新予防給付、意義・概要
12	7/18	5 章 産業保健	産業保健の概念、職業性疾病、産業保健管理・対策、歯科口腔保健法
13	7/25	4 章 成人保健	生活習慣病のリスクファクター
14	9/12	3 章 学校保健	学校保健の意義、概要、活動と組織 学校歯科健康診断、CO と GO の事後措置、歯科衛生士の役割
15	9/19	2 章 母子保健	母子保健の概略、母子健康手帳、妊産婦歯科保健指導 1 歳 6 ヶ月児・3 歳児健康診査、う蝕罹患型歯科保健指導 母子保健の現状と今後

【評価法】 試験結果と小テスト結果及び授業レポートで評価する

衛 生 行 政 ・ 社 会 福 祉

- 【担当者】 佐久間 信 彦 【実務経験】 歯科医師
- 【目 的】 医療法制・衛生行政・関係法規・社会保障・社会福祉の履修を通して、歯科衛生士の身分や業務について理解を深めると共に、関連他職種と共同して歯科保健医療の普及と向上のために働くために必要な知識を備える。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第2学年 前期
- 【時 間】 衛生行政 火曜日 10:40～12:10
社会福祉 火曜日 10:40～12:10
- 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「保健・医療・福祉の制度」

【授業内容・到達目標】

○衛生行政

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/9	衛生行政の概要	目的、歴史、仕組み
2	4/16	衛生関係法規①	法制概論、歯科衛生士法
3	4/23	衛生関係法規②	歯科医師法、歯科技工士法、他の職種の法律について
4	4/30	衛生関係法規③	歯科口腔保健法、医療法、医薬品医療機器等法
5	5/7	衛生関係法規④	地域保健法、健康増進法等

○社会福祉

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
6	5/21	社会保障	社会保障制度の概要、行政組織
7	5/28	社会保険	医療保険、介護保険、年金保険、雇用保険、労災保険
8	7/9	社会福祉（１）	社会福祉制度の概要、行政組織、社会福祉にかかわる専門職種
9	7/23	社会福祉（２）	生活保護、児童家庭福祉、障害者福祉、高齢者福祉
10	9/3	社会福祉（３） 保健医療の動向	地域包括ケアシステム、厚生関係統計調査 国民の健康と疾病の状況、医療の動向

- 【評価法】 試験の成績で評価する

歯 科 衛 生 士 概 論

- 【担当者】 歯科衛生士教員 【実務経験】 歯科衛生士
- 【目 的】 歯科衛生士の業務の概念を理解し、国民の歯科保健の向上と増進にいかに関与する機能を役割をはたしているか学ぶ。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第1学年 前期
- 【時 間】 月曜日 9:00～10:30 [2回目のみ 水曜日 9:00～10:30]
- 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「歯科衛生学総論」
プリント

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/15	歯科衛生の定義	歯科衛生学の定義を理解し、健康とのかかわり、歯科衛生活動の対象・領域を理解する
2	5/1	歯科衛生の歴史	日本の歯科衛生の誕生、また歯科衛生士の誕生について理解する
3	5/13	歯科衛生士法と歯科衛生業務	歯科衛生士法、歯科衛生業務について理解する
4	5/20	歯科衛生士と医療倫理	倫理の必要性について理解し、歯科衛生士としての倫理を理解する
5	5/27	〃	〃
6	6/3	歯科衛生活動のための理論	予防の概念、歯科衛生の考え方を理解する
7	6/17	歯科衛生課程	歯科衛生課程を知り、流れを理解する
8	6/24	歯科衛生士の活動と組織 海外における歯科衛生士	歯科衛生活動の現状を知り、各保険制度の仕組みを理解する 歯科衛生士の社会組織活動を理解する 海外の歯科衛生士の教育内容、業務内容を知る

- 【評価法】 試験の成績と講義の出席状況から評価する

歯 科 臨 床 概 論

【担当者】 山 城 啓 文 **【実務経験】** 歯科医師
【目 的】 歯科医学や臨床への入門案内
【方 法】 講義
【時 期】 第1学年 前期
【時 間】 火曜日 13:00～14:30 [1・6回目 木曜日 13:00～14:30]
【教科書】 医歯薬出版 「歯科衛生士のための歯科臨床概論 第2版」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/18	歯科診療と歯科診療所	歯科診療とは、臨床の場と関わる人々や対象者 歯科診療所とその業務、歯科診療における心構え
2	4/23	歯科診療の流れ	主な歯科診療 各論①
3	4/30		主な歯科診療 各論②
4	5/7		主な歯科診療 各論③
5	5/14		主な歯科診療 各論④
6	5/23		主な歯科診療 各論⑤
7	6/4		主な歯科診療 各論⑥
8	6/18		主な歯科診療 各論⑦

【評価法】 試験の成績と授業態度で評価する

歯 科 保 存 学 （ 保存修復学 ）

【担当者】 平 田 誠 **【実務経験】** 歯科医師
【目 的】 歯牙の保存的治療（治療・歯内修復学）の基本的治療を習得させる。
【方 法】 講義
【時 期】 第2学年 前期
【時 間】 火曜日 13:00～14:30
【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生シリーズ「保存修復学・歯内療法学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/9	総 論	歯の保存療法の種類 （1）歯の保存療法と歯科保存学 （2）対象となる疾患
2	4/16	保存修復学	保存修復学の意味と概要（適応症と禁忌症、う蝕の病態と形成形態、処置ステップの流れと概要）
3	4/23	直接法修復	コンポジットレジン修復、セメント修復
4	4/30	セメント修復	種類と用途（暫間修復用・合着・裏層用・間接覆髄） 組成と硬化機序、特徴、適応症、処置の手順
5	5/7	間接法修復	インレーおよびアンレー修復
6	5/14	ベニア修復、合着材および接着材	ポーセレンラミネートベニア修復、レジンダイレクトベニア修復
7	5/21	保存修復における 歯科衛生士の役割	検査、診断時の業務、診療補助業務、薬剤器材の保管管理
8	6/18	まとめ	

【評価法】 試験の成績と講義の出席状況と授業態度で評価する

歯 科 保 存 学 （ 歯 内 ）

【担当者】 花 木 清 隆 **【実務経験】** 歯科医師
【目 的】 歯牙の保存的治療（治療・歯内修復学）の基本的治療を習得させる。
【方 法】 講義
【時 期】 第1学年 後期
【時 間】 木曜日 13:00～14:30
【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	1/9	歯内療法概論	歯内療法という学問・治療について
2	1/16	歯髄疾患 根尖性歯周疾患	歯髄疾患および根尖性歯周疾患の原因・種類・症状・診断・治療法について
3	1/23	診査・診断	歯内療法領域における診査法・診断法について
4	1/30	歯髄疾患の治療法	歯髄鎮静療法・歯髄保存療法・歯髄除去療法の種類・適応・術式・使用器具・使用薬剤・使用材料について
5	2/6	根尖性歯周疾患の治療法	感染根管治療の適応・術式・使用器具・使用薬剤・使用材料について 根管充填の術式・使用器具・使用薬剤・使用材料について
6	2/13	外科的歯内療法 歯の外傷	外科的歯内療法の種類・適応・術式について 歯の外傷に対する処置法について
7	2/20	歯内療法における安全対策 歯内療法における歯科衛生士の役割	歯内療法時の偶発症とその処置法ならびに対策法について 歯内療法に使用する器材、薬剤の管理、歯内療法における患者説明と指導
8	2/27	まとめ	

【評価法】 講義毎に小テストを行う
 小テスト・試験の成績と講義の出席状況と授業態度で評価する

歯 科 保 存 学 (歯 周) (1 年 生)

- 【担当者】 能 美 和 基 【実務経験】 歯科医師
- 【目 的】 歯周病の原因や進行のメカニズムを理解し、どのような予防法・治療法が適切かその目的や理論を理解することを目的とする。
- 【方 法】 講 義
- 【時 期】 第1学年 後期 2年次に継続する
- 【時 間】 火曜日 13:00～14:30
- 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「歯周病学」
スライド・プリント

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	1/14	歯周治療とは	歯周組織と歯周病、歯周治療学とは、歯周治療における衛生士の役割
2	1/21	正常な歯周組織の構造と機能	歯周組織、歯周組織の構造（歯肉・歯根膜・歯槽骨・セメント質）歯周組織の機能（歯の支持・歯周組織の修復と再生・咬合力への適応・歯周組織の防御機構・歯周組織と咬合）
3	1/28	歯周病の分類と原因Ⅰ	歯周病の分類（歯肉病変・歯周炎・咬合性外傷）
4	2/4	歯周病の分類と原因Ⅱ	歯周病の原因（プラーク・歯石・プラーク増加因子・外傷性咬合・全身性因子）、ペリオドンタルメディシン(歯周医学)
5	2/18	歯周治療の進め方	歯周疾患の治療と予防の基本的考え方、 歯周治療の進め方（歯周治療への導入・診査・イニシャルプレパレーション・再評価・治療計画の修正・再評価・メンテナンス）
6	2/25	歯周病の検査	一般診査・歯周組織の診査（歯周組織破壊の程度の診査・原因となる因子の診査・プラーク増加因子）、咬合の診査（咬合の形態的診査・咬合の機能的診査・舌口唇の習癖診査）、X線写真、口腔カラー写真
7	3/11	歯周基本治療	歯周基本治療の目的・内容・方法 歯周基本治療における歯科衛生士の役割

- 【評価法】 試験と授業態度を総合して評価する

歯 科 保 存 学 (歯 周) (2 年 生)

- 【担当者】 能 美 和 基 【実務経験】 歯科医師
- 【目 的】 歯周病の原因や進行のメカニズムを理解し、どのような予防法・治療法が適切かその目的や理論を理解することを目的とする。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第2学年 前期
- 【時 間】 木曜日 13:00～14:30
- 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「歯周病学」
スライド・プリント

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
9	4/11	歯周外科治療	歯周外科治療の目的と分類 歯周外科治療の術式と使用器具
10	4/18	歯周外科治療 根分岐部病変の治療	歯周外科治療の術後の注意点 根分岐部病変の処置法について
11	4/25	歯周治療としての 口腔機能回復治療	歯周治療における咬合調整の意義 歯周治療における矯正治療の意義 固定法の意義と種類 歯周治療における補綴治療の意義
12	5/2	咬合性外傷とインプラント	咬合調整（器具・歯科衛生士の役割）、矯正治療（MTMの目的・装置の種類）、固定法（暫間固定・永久固定・ナイトガード） インプラント周囲疾患について
13	5/9	メンテナンス スケーリング・ルートプレーニング	メンテナンスの重要性、方法、リコールシステム
14	5/16	まとめ	まとめ

- 【評価法】 試験と授業態度を総合して評価する

歯 科 補 綴 学 （ 1 年 生 ）

【担当者】 和田本 昌 良 【実務経験】 歯科医師

【目 的】 補綴学の目的を理解させると共に、それに必要な各種の補綴装置の特徴・製作方法・関連事項について理解させる。

【方 法】 講義

【時 期】 第1学年 後期 2年次に継続する

【時 間】 水曜日 13：00～14：30

【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「歯科補綴学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	1/8	補綴歯科治療の基礎	歯科補綴の概要
2	1/15	〃	〃
3	1/22	〃	補綴歯科治療の基礎知識
4	1/29	補綴歯科治療の実際と 歯科衛生士の役割	補綴歯科治療における検査
5	2/5	〃	〃
6	2/12	〃	クラウン・ブリッジ治療
7	2/19	〃	〃
8	2/26	〃	有床義歯治療
9	3/12	〃	〃

【評価法】 試験の成績で評価する

歯 科 補 綴 学 （ 2 年 生 ）

【担当者】 和田本 昌 良 【実務経験】 歯科医師

【目 的】 補綴学の目的を理解させると共に、それに必要な各種の補綴装置の特徴・製作方法・関連事項について理解させる。

【方 法】 講義

【時 期】 第2学年 前期

【時 間】 水曜日 13：00～14：30

【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「歯科補綴学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
10	4/10	補綴歯科治療の実際と 歯科衛生士の役割	有床義歯治療
11	4/17	〃	インプラント治療
12	4/24	〃	〃
13	5/1	〃	〃
14	5/8	〃	特殊な口腔内装置を用いる治療
15	5/15	〃	補綴歯科治療における器材の管理、まとめ

【評価法】 試験の成績で評価する

口 腔 外 科 学 （ 歯科麻酔学 ）

【担当者】 長 畑 光・菊 地 伸 仁 **【実務経験】** 歯科医師
【目 的】 口腔外科、歯科麻酔に関する知識および診療介助の実技を修得すること。
【方 法】 講義・実習
【時 期】 第1学年 後期
【時 間】 木曜日 14：40～16：10
【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「口腔外科学・歯科麻酔学 第2版」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	10/17	口腔外科の概要	口腔外科とは、口腔外科における歯科衛生士の役割
2	10/24	全身状態の把握	口腔疾患の全身への影響（歯性感染症）、口腔領域に症状を表す全身疾患
3	10/31	口腔疾患と内科系疾患との関係	高血圧症、狭心症、糖尿病、投薬時の注意
4	11/7	口腔領域の先天異常	歯の異常、口腔軟組織の先天異常、唇裂・口蓋裂、顎の先天異常と変形
5	11/14	口腔領域の外傷	歯の外傷、顎骨骨折、軟組織の損傷
6	11/21	口腔粘膜病変、炎症	水疱形成を主徴とする疾患、紅斑およびびらんを主徴とする疾患、潰瘍を主徴とする疾患、白斑を主徴とする疾患、色素沈着を主徴とする疾患、その他の異常なし疾患
7	11/28	炎症	歯周組織の炎症、顎骨の炎症、顎骨周囲組織の炎症
8	1/9	口腔領域の嚢胞	顎骨内にできる嚢胞、軟組織に生じる嚢胞
9	1/16	口腔領域の嚢胞	顎骨内にできる嚢胞、軟組織に生じる嚢胞
10	1/23	口腔領域の腫瘍	歯源性腫瘍、非歯源性良性腫瘍、非歯源性悪性腫瘍、前癌性病変、腫瘍類似疾患
11	1/30	口腔領域の神経疾患と血液疾患	神経痛、神経麻痺、オーラルジスキネジア、赤血球系の疾患、白血球系の疾患、出血性素因
12	2/6	歯科麻酔 1	歯科麻酔とは何か？ 全身状態の評価、局所麻酔
13	2/13	歯科麻酔 2	精神鎮静法、全身麻酔、救急蘇生法
14	2/20	口腔外科治療の実際	診察の実際、診察と診断の過程における衛生士の役割
15	2/27	まとめ	

【評価法】 試験の成績と授業態度（授業中の問いかけに対する返答等で）で評価する

小 児 歯 科 学 （ １ 年 生 ）

【担当者】 鈴 木 淳 司 【実務経験】 歯科医師

【目 的】 小児歯科学の概要を教え、その診療補助の能力を与え、さらに小児に対する対応について理解させる事を目的とする。

【方 法】 講義

【時 期】 第 1 学年 後期 2 年次に継続する

【時 間】 金曜日 13：00～14：30

【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「小児歯科学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	1/10	小児歯科概論	小児歯科学とは、小児歯科診療と歯科衛生士の役割 咬合発育段階
2	1/24	心身の発育	発育の概念と分類、発育の評価、生理的年齢、器官の発育
3	1/31	精神的発達	言語の発達、情動の発達、運動機能の発達、摂食嚥下機能の発達
4	2/7	生理的特徴、薬剤処方 歯の発育	小児の生理的特徴、薬剤処方、乳歯・幼若永久歯の特徴、歯の形成
5	2/14	歯の発育異常	歯の発育時期と形成障害、歯の萌出、歯の萌出異常
6	2/21	歯列・咬合の発育と異常	歯列および咬合の発育、歯列・咬合の発育異常
7	2/28	小児の歯科疾患	う蝕、歯周疾患
8	3/7	小児の歯科疾患	口腔軟組織の異常と疾患

【評価法】 試験の成績で評価する

小 児 歯 科 学 （ 2 年 生 ）

【担当者】 鈴 木 淳 司 【実務経験】 歯科医師

【目 的】 小児歯科学の概要を教え、その診療補助の能力を与え、さらに小児に対する対応について理解させる事を目的とする。

【方 法】 講義

【時 期】 第2学年 前期

【時 間】 金曜日 13:00～14:30

【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「小児歯科学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
9	4/12	小児の特徴と歯科的問題	各期の特徴と歯科的特徴、小児歯科治療体系、小児歯科治療における原則
10	4/19	小児の歯冠修復	乳歯の歯冠修復、幼若永久歯の歯冠修復
11	4/26	小児の歯内療法	乳歯の歯内療法、幼若永久歯の歯内療法
12	5/10	小児の外科的処置、咬合誘導	乳歯の抜歯、小児の歯の外傷、咬合誘導
13	5/24	患児の対応法	診療室における小児の態度、一般的対応法
14	5/31	患児の対応法	非協力児の対応法、行動療法的対応法、抑制的対応法 鎮痛減痛下の対応法

【評価法】 試験の成績で評価する

歯 科 矯 正 学

【担当者】 尾 山 奈々子 **【実務経験】** 歯科医師
【目 的】 歯科矯正治療の基礎知識、治療の内容と診療における歯科衛生士の役割を理解する
【方 法】 講義
【時 期】 第2学年 前期
【時 間】 木曜日 9：00～10：30
【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学 第2版」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/11	歯科矯正治療の概要	不正咬合による障害、歯科矯正治療の目的・必要性を理解する
2	4/18	成長発育	顎顔面部の成長発育を理解する
3	4/25	咬合	正常咬合と不正咬合について学ぶ
4	5/2	咬合 口腔習癖	不正咬合の予防、口腔習癖について学ぶ
5	5/9	矯正歯科診断	診断に必要な資料の収集について学ぶ
6	5/16	矯正歯科診断	診断に必要な分析について学ぶ
7	5/23	矯正力と歯の移動 保定	矯正力の種類、歯の移動と組織反応、歯の移動様式について学ぶ 保定の意義、装置と再発について学ぶ
8	5/30	矯正装置	矯正治療に使用する装置についてその適応症、使用方法を学ぶ
9	6/20	矯正装置 保定装置	矯正治療に使用する装置、保定装置について学ぶ②
10	6/27	矯正歯科治療の実際	様々な治療例を見ながら、矯正治療について理解を深める
11	7/18	歯科矯正における歯科衛生士の役割	矯正歯科診断に必要な資料の収集、矯正歯科用器具・材料の準備と取り扱いについて学ぶ
12	7/25	歯科矯正における歯科衛生士の役割	矯正歯科用器具・材料の準備と取り扱いについて学ぶ② 診療中の歯科医師の補助、患者への指導・説明について学ぶ
13	9/12	歯科矯正における歯科衛生士の役割	診療中の歯科医師の補助、患者への指導・説明について学ぶ② 矯正患者への口腔保健指導について学ぶ
14	9/19	歯科矯正における歯科衛生士の役割 教科書のまとめ	口腔筋機能療法、器材・資料・文書の管理について学ぶ 全体のまとめ

【評価法】 試験の成績と授業態度で評価する

歯 科 予 防 処 置

- 【担当者】 歯科衛生士教員 【実務経験】 歯科衛生士
 【目 的】 歯科衛生士の職務の根幹となる歯科予防処置を理解する。
 【方 法】 講義
 【時 期】 第1学年 後期
 【時 間】 下記のとおり
 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生士学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	時 間	項 目	授業内容・到達目標
1	10/15 (火)	14:40 ～ 16:10	歯科予防処置とは	歯科予防処置とは
2	10/22 (火)	14:40 ～ 16:10	予防的歯石除去とは	病的変化を招く因子について①
3	10/29 (火)	14:40 ～ 16:10	〃	病的変化を招く因子について②
4	11/5 (火)	14:40 ～ 16:10	〃	歯周組織の病的変化について
5	11/21 (木)	13:00 ～ 14:30	〃	歯科衛生介入としてのスクーリング①
6	1/10 (金)	10:40 ～ 12:10	〃	歯科衛生介入としてのスクーリング②
7	1/20 (月)	13:00 ～ 14:30	予防的歯石除去とは う蝕予防処置とは	メンテナンスについて う蝕予防処置とは フッ化物応用について①
8	1/27 (月)	13:00 ～ 14:30	う蝕予防処置とは	フッ化物応用について②
9	2/3 (月)	13:00 ～ 14:30	〃	フッ化物応用について③ 小窩裂溝填塞について
10	3/3 (月)	13:00 ～ 14:30	〃	リスク検査について 歯科予防処置のまとめ

- 【評価法】 試験の成績と授業態度で評価する

歯 科 保 健 指 導 （ １ 年 生 ）

- 【担当者】 歯科衛生士教員 【実務経験】 歯科衛生士
- 【目 的】 保健指導の意義を知り、ライフステージ別、各々の歯科保健の向上を援助する為の指導方法を学ぶ。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第1学年 後期 2年次に継続する
- 【時 間】 下記のとおり
- 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
プリント スライド

【授業内容・到達目標】

回	月 日	時 間	項 目	授業内容・到達目標
1	11/29 (金)	13:00 ～ 14:30	歯科保健指導総論	歯科保健指導の概要・健康の概念
2	1/14 (火)	14:40 ～ 16:10	食生活指導のための基礎知識	健康課題・近年の食生活の特徴・食品とう蝕誘発性
3	1/21 (火)	14:40 ～ 16:10	う蝕予防のための食品摂取方法	歯周病・酸蝕症・咀嚼と食品
4	1/28 (火)	14:40 ～ 16:10	保健行動支援のための基礎知識	行動変容に関する理論と実践について
5	2/4 (火)	14:40 ～ 16:10	ライフステージに対応した 歯科衛生介入	妊娠婦期・乳児期
6	2/10 (月)	13:00 ～ 14:30	〃	幼児期・学齢期
7	2/18 (火)	14:40 ～ 16:10	〃	青年期・成人期・その他
8	2/25 (火)	14:40 ～ 16:10	歯科衛生介入としての保健指導	ブラッシング法・その他の清掃方法

- 【評価法】 試験の成績で評価する

歯 科 保 健 指 導 （ 2 年 生 ）

- 【担当者】 歯科衛生士教員 ・ 阿 川 真 澄 【実務経験】 歯科衛生士
 【目 的】 保健指導の意義を知り、ライフステージ別、各々の歯科保健の向上を援助する為の指導方法を学ぶ。
 【方 法】 講義
 【時 期】 第2学年 前期
 【時 間】 下記のとおり
 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
 プリント スライド

【授業内容・到達目標】

回	月 日	時 間	項 目	授業内容・到達目標
9	4/15 (月)	10:40 ～ 12:10	地域歯科保健活動について	保育所（園）・幼稚園・学校での健康教育
10	6/21 (金)	14:40 ～ 16:10	歯科衛生アセスメント	情報収集・医療面接について
11	6/25 (火)	10:40 ～ 12:10	分析のためのデータ・まとめ	口腔衛生状態・歯周疾患・う蝕の指標について

- 【評価法】 試験の成績で評価する

- 【時 期】 第2学年 後期
 【時 間】 下記のとおり

回	月 日	時 間	項 目	授業内容・到達目標
12	11/18 (月)	10:40 ～ 12:10	保健指導（訪問）について	高齢者・障害者における保健指導
13	11/25 (月)	10:40 ～ 12:10	〃	〃
14	12/2 (月)	10:40 ～ 12:10	〃	〃

栄 養 指 導 ・ 歯 科 栄 養 指 導

- 【担当者】 浜 田 澄 子 【実務経験】 管理栄養士
 歯科衛生士教員 【実務経験】 歯科衛生士
- 【目 的】 各栄養素の種類と栄養学的意匠を理解する。食生活の現状と問題点を把握する。
 歯科臨床の場における栄養指導の必要性を十分に理解する。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第2学年 前期
- 【時 間】 栄養指導 木曜日 10:40～12:10
 歯科栄養指導 下記のとおり
- 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「栄養と代謝」
 実教出版 「オールガイド食品成分表 2024」 プリント

【授業内容・到達目標】

○栄養指導

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/11	栄養の基礎知識 食事摂取基準	栄養素とは何かを理解する 栄養素の消化・吸収について理解する 食生活の現状と問題点を理解する 食事摂取基準の意味と意義
2	4/18	糖 質	糖質の種類、体内での働き、う蝕との関係、食物繊維について 栄養的意義を理解する
3	4/25	タンパク質	タンパク質の栄養的特徴・アミノ酸について理解する 栄養評価、制限アミノ酸、補足効果、働きについて理解する
4	5/2	脂 質	脂質の種類、脂肪酸の種類、働きを理解する
5	5/9	ビタミン・ミネラル・水	ビタミンの種類、働き、欠乏症を理解する ミネラルの種類、作用、欠乏症を理解する 水の働きと代謝を理解する
6	5/16	食生活と健康	食生活と健康の関連について食生活の変遷と疾病構造の変化を理解する 国民健康・栄養調査の結果から課題を見つけ、望ましい食生活について考える
7	5/23	食べ物と健康	食品の機能、食品成分表の使い方、食べ物の物性を理解する

○歯科栄養指導

8	4/11 (木)	14:40 ～ 16:10	歯科栄養指導総論	歯科における栄養指導の意義 食生活と健康
9	4/18 (木)	14:40 ～ 16:10	望ましい食生活	国民健康・栄養調査 栄養バランス等
10	4/25 (木)	14:40 ～ 16:10	ライフステージ別の栄養と調理	乳幼児、妊産婦、高齢者、嚥下機能障害との関連について
11	5/2 (木)	14:40 ～ 16:10	栄養指導の進め方	歯科栄養指導の手順
12	5/9 (木)	14:40 ～ 16:10	〃	調査結果の分析・診断法 食品成分表の使い方
13	5/24 (金)	14:40 ～ 16:10	歯科栄養指導演習	症例演習 分析資料作成
14	6/28 (金)	14:40 ～ 16:10	〃	症例演習 分析・考察

【評価法】 試験の成績で評価する

歯 科 診 療 補 助 ・ 受 付 応 対

- 【担当者】 歯科衛生士教員 【実務経験】 歯科衛生士
- 【目 的】 歯科診療補助に関する理解と方法論を学び、臨床場面において体験させ、歯科衛生士業務に必要な知識技術態度を養う。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第1学年 前期
- 【時 間】 歯科診療補助 月曜日 10:40～12:10 [1回のみ水曜日 14:40～16:10]
 受付応対 水曜日 14:40～16:10 [9回のみ月曜日 14:40～16:10]
- 【教科書】 歯科診療補助 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」
 医歯薬出版「歯科衛生士のための感染予防スタンダード」
 受付応対 医歯薬出版 「デンタルスタッフのクリニカルマナー 歯科医院における受付・患者応対と事務」

【授業内容・到達目標】

○歯科診療補助

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/10	歯科診療補助総論	歯科診療補助の概念
2	4/15	医療安全	医療安全とは
3	5/13	感染予防	感染予防について（手指消毒・滅菌と消毒）
4	5/20	歯科診療における基礎知識	歯科診療室の基礎知識と共同動作
5	5/27	歯科臨床と診療補助	歯科医療における歯科診療補助について
6	6/3	歯科診療で扱う歯科材料	印象採得・模型作製・合着・仮封・仮着等
7	6/17	歯科衛生士が関わる 医科疾患患者①	主な全身疾患とその対応
8	6/24	歯科衛生士が関わる 医科疾患患者②	周術期・歯科訪問診療・口腔機能管理 まとめ

○受付応対

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
9	4/15	心構え・基礎知識	医療人としての心構え・記号、略称
10	4/17	クリニカルポイント	社会人としてのマナー・診療所の1日の流れ
11	4/24	リスクマネジメント	さまざまな患者対応・小テスト1
12	5/1	院内での情報共有	問診票、業務記録・小テスト2
13	5/8	医療保険制度	医療保険の内容、カルテ作成・小テスト3
14	5/15	総括	まとめ

- 【評価法】 試験の成績と講義の出席状況から評価する

歯 科 材 料 ・ 薬 剤

【担当者】 岡 橋 伸 吾 **【実務経験】** 歯科医師
【目 的】 歯科材料の基本的性質・用途・取り扱い方などの基本的知識を習得する。
【方 法】 講義
【時 期】 第1学年 前期
【時 間】 木曜日 13:00～14:30 [2・7回目 火曜日 13:00～14:30]
【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「歯科材料」
 永末書店 「イラストと写真でわかる歯科材料の基礎」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/11	歯科材料学とは 印象材	種類、組成、性質、使用目的
2	4/16	印象材	種類、組成、性質、使用目的
3	4/25	模型用材料	歯科用石膏の性質
4	5/2	模型用材料 合着材・接着材	歯科用石膏の取り扱い 合着材・接着材の種類、性質
5	5/9	合着材・接着材	合着材・接着材の種類、性質
6	5/16	成形修復材	コンポジットレジン・グラスアイオノマーセメント
7	5/21	仮封材・仮着用セメント	仮封材・仮着用セメントの種類、性質
8	5/30	ワックス・金属・セラミックス	ワックス・金属・セラミックスの性質
9	6/6	まとめ	総復習

【評価法】 試験の成績、講義の出欠状況で総合評価する

臨 床 検 査 法

【担当者】 伊 藤 良 明 **【実務経験】** 歯科医師
【目 的】 歯科診療における臨床検査の役割と内容を理解する。
【方 法】 講義
【時 期】 第2学年 前期
【時 間】 木曜日 14:40～16:10
【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「臨床検査」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	5/16	臨床検査と歯科衛生士の役割 生理機能検査	臨床検査の目的および意義を説明できる等 バイタルサインを説明できる等
2	5/23	生理機能検査	心電図検査の目的と心電図波形を説明できる等
3	5/30	血液学的検査	血液の役割を説明できる等
4	6/20	感染症の検査	微生物学的検査を説明できる等
5	6/27	肝機能の検査 腎機能の検査	肝臓の構造を理解できる等 腎臓の機能を理解できる等
6	7/11	腎機能の検査 糖尿病の検査	腎機能の検査に関わる疾患等 糖尿病のメカニズムを説明できる等
7	7/18	代謝・内分泌疾患の検査 免疫・血清学的検査	主な金属(微量元素)の検査を説明できる等 免疫の仕組みを説明できる等
8	9/12	免疫・血清学的検査 病理学的検査	悪性腫瘍(腫瘍マーカー)の検査を説明できる等 病理学的検査の種類を説明できる等
9	9/19	画像検査 口腔領域の臨床検査	エックス線検査の原理と特徴を説明できる等 う蝕と歯周病に関わる検査の項目を列挙できる等
10	9/26	口腔領域の臨床検査	摂食嚥下障害の検査の意義と概要を説明できる等

【評価法】 小テストと試験を総合して評価をする

救 急 処 置 ・ 介 護 技 術

【担当者】 日赤救急指導員・介護技術担当者

【目 的】 日常生活における事後防止の知識と、思わぬ事故や災害で怪我をした人や急病になった人に対して、医師や救急隊に引き継ぐまでの救命手当、応急手当を行える方法を学ぶ。

【方 法】 講義・実技

【時 期】 救急処置 第2学年 後期 介護技術 第2学年 前期

【時 間】 救急処置 9：00～16：30 介護技術 下記のとおり

【教科書】 救急法講習教本

【授業内容・到達目標】

○救急処置

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	10/22(火) 11/19(火)	赤十字救急法について、学科・実技検定	救急法について、AED、1次救命処置
2	10/23(水) 11/20(水)	急 病	急病・けが・傷の手当て
3	10/24(木) 11/21(木)	総合実技	骨折について、総合実技
4	10/25(金) 11/22(金)	学科・実技検定	筆記と実技

○介護技術 ※介護職員初任者研修課程へ続く

回	月 日	時 間	授業内容・到達目標
1・2	6/19(水)	13:00～16:10	職務の理解
3・4	6/24(月)	9:00～12:10	職務の理解
5・6	6/25(火)	13:00～16:10	職務の理解
7・8	6/26(水)	13:00～16:10	介護における尊厳保持・医療との連携・障害の理解
9・10	7/8(月)	9:00～12:10	介護の基本
11・12	7/10(水)	13:00～16:10	老化の理解・認知症の理解・医療との連携・障害の理解
13・14	7/22(月)	9:00～12:10	老化の理解・認知症の理解・医療との連携・障害の理解
15・16	9/5(木)	9:00～12:10	認知症の理解・介護におけるコミュニケーション技術
17・18	9/9(月)	9:00～12:10	介護におけるコミュニケーション技術・介護に関する基礎的理解
19・20	9/17(火)	13:00～16:10	介護に関する基礎的理解
21・22	9/24(火)	9:00～12:10	生活と家事
23・24	9/26(木)	9:00～12:10	快適な居住環境整備と介護

【評価法】 「介護初任者研修」修了証書の交付に代える

看 護 学

- 【担当者】 山 根 美喜子 【実務経験】 看護師・助産師
- 【目 的】 最小限知っておきたい看護の知識・技術を習得する。
(全身疾患をもった患者の歯科診療を行う機会の増えている今日、患者の精神面をも含めた全身状態にも目を向けることが求められている)
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第2学年 前期
- 【時 間】 月曜日 13:00～14:30 [10回目のみ 金曜日 9:00～10:30]
- 【教科書】 医歯薬出版 「歯科衛生士のための看護学大意 第4版」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	5/13	病院における歯科衛生士の役割	医療チームの中の歯科衛生士，看護とは，看護の対象・役割
2	5/20	歯科衛生士が知っておくべき 看護技術	バイタルサインとは（体温・脈拍・呼吸・血圧）
3	5/27	〃	バイタルサイン測定の手技（各測定と記録方法）
4	6/17	〃	患者とのコミュニケーション，患者への支援，患者の安全と安楽
5	6/24	〃	摂食、その他の看護技術（与薬・薬法・吸引吸入）
6	7/8	歯科衛生士に必要な看護実務	観察と記録（身体的・心理的・社会的問題と対応）、外来及び入院患者の看護
7	7/22	〃	口腔ケア、口・鼻腔吸引、気管吸引
8	9/2	〃	全身疾患を有する患者の一般歯科治療における診療補助
9	9/9	〃	〃
10	9/20	地域医療活動における 歯科衛生士の役割	地域社会における看護のあり方、保健・医療・福祉チームとの連携、在宅医療における歯科衛生士の役割

【評価法】 試験の成績、講義の出欠状況で総合評価する

高 齡 者 齒 科

【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「高齢者歯科学」 Power Point プリント 実際の器具

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	7/12	高齢者歯科学と歯科衛生士の役割、 高齢者をとりまく社会と環境	高齢者の特徴、医療連携、口腔ケアから口腔健康管理へ 高齢社会と健康、高齢者の健康に関わる法制度（介護保険など） 地域包括ケアシステム
2	7/19	高齢者の居住形態 加齢による身体的・精神的変化と 疾患 1	高齢者施設及び入院設備の特徴 加齢に伴う身体的機能饒辺か、高齢者の精神心理的变化 高齢者に多い全身疾患・障害および口腔疾患
3	9/6	加齢による身体的・精神的変化と 疾患 2	認知症、神経・筋疾患、（誤嚥性）肺炎、フレイルとサルコペニア、 高齢者特有の口腔疾患、オーラルフレイルと口腔機能低下症
4	9/13	高齢者の状態の把握	高齢者の生活機能の評価、高齢者歯科と臨床検査 高齢者の栄養状態・薬剤服用
5	9/20	口腔健康管理 1	口腔健康管理のための評価、口腔アセスメント（OHAT ほか） 健康な高齢者・周術期・急性期・回復期・慢性期への口腔健康管理
6	9/24	口腔健康管理 2 摂食演技リハビリテーション 1	終末期への口腔健康管理 摂食嚥下の評価・嚥下訓練と対応、食事支援 誤嚥・窒息への対応、補綴的対応
7	10/4	摂食嚥下リハビリテーション 2	在宅・介護施設における摂食嚥下リハビリテーション 動画で観る摂食嚥下リハビリテーション（DVD） 摂食嚥下実習
8	11/1	高齢者に関わる医療と介護	高齢者のリハビリテーションの概要 在宅医療の概要、訪問看護と歯科の役割、訪問介護と歯科の役割、 訪問診療における歯科医療 老人医療施設での事例紹介
9	11/8	災害時の歯科の役割、東洋医学 高齢者に関わる歯科衛生士の実践	災害関連死、東洋医学と漢方 歯科衛生過程と事例 国際生活機能分類（ICF）の活用と事例 口腔衛生管理用品・器具の紹介
10	11/15	まとめ	これまでの講義のまとめ 在宅・施設など実際の訪問診療の現状を紹介

【評価法】 試験・レポートの結果と講義の出欠状況および態度で総合評価する

障 害 者 齒 科

【担当者】 石 通 宏 行 **【実務経験】** 歯科医師
【目 的】 障害者歯科の基礎と臨床上の注意の修得。
【方 法】 講義・実習
【時 期】 第2学年 前期
【時 間】 金曜日 13：00～14：30 [1回目 14：40～16：10]
 [4回目 9：00～10：30]
【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「障害者歯科学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	5/31	障害の概念	障害者の理解と障害
2	6/21	特別な支援が必要な疾患	障害の種類と疾患
3	6/28	歯科医療と行動調整	行動調整の実際
4	7/12	健康支援と口腔衛生管理	口腔のケアと口腔衛生管理
5	7/19	リスク評価と安全管理	リスクの評価と安全管理の実際
6	9/6	摂食嚥下リハビリテーション	摂食嚥下障害とリハビリテーション
7	9/13	地域における障害者歯科	地域における医療連携とネットワーク
8	9/20	障害者歯科のまとめ	今までの学習のまとめ

【評価法】 試験結果と授業レポートとで評価する

歯 科 放 射 線 学

- 【担当者】 津 田 祐 一 【実務経験】 歯科医師
- 【目 的】 診療補助としての歯科放射線学を学ぶと共に、歯科衛生士として知っておくべき臨床知識についても学習する。
- 【方 法】 講義・実習
- 【時 期】 第1学年 前期
- 【時 間】 火曜日 13:00～14:30
- 【教科書】 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「歯科放射線学」

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	6/25	歯科医療と放射線	歯科における X 線写真と画像診断 放射線とその性質 放射線の人体への影響と防護
2	7/9	X 線画像の形成	X 線と画像の形成 X 線フィルムと増感紙 デジタル画像系
3	7/16	歯科における X 線検査	口内法 X 線撮影
4	7/23	〃	パノラマ X 線撮影 頭部 X 線規格撮影
5	9/3	口内法 X 線撮影の実際と 歯科衛生士の役割	口内法 X 線撮影の準備 フィルムとヘッドの位置づけ 配慮が必要な患者の撮影 感染予防 口内法写真の見方
6	9/10	パノラマ X 線撮影の 実際と歯科衛生士の役割	パノラマ X 線撮影の準備 患者の誘導と位置づけ パノラマ X 線写真の見方 その他の画像検査法
7	9/17	写真処理と画像保管の実際	写真処理 写真処理における品質管理 X 線写真の整理・観察・保管
8	9/24	放射線治療と口腔管理 読影、まとめ	放射線治療 放射線治療患者の口腔管理 その他 まとめ

- 【評価法】 試験・小テストの結果と講義の出席状況および態度で総合評価する

医 療 ・ 保 険 事 務

【担当者】 片 山 巖 **【実務経験】** 歯科医師
【目 的】 医療保険の仕組み及び、保険診療における歯科衛生士の役割を理解する。
【方 法】 講義
【時 期】 第2学年 前期～後期
【時 間】 月曜日 13:00～14:30
【教科書】 プリント

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	9/30	医療保険	授業の目的と社会保障制度・医療保険制度の概要
2	10/21	〃	医療保険制度、保険診療とは
3	10/28	〃	診療録について 診療報酬の流れ
4	11/11	〃	保険診療における歯科衛生士業務①
5	11/18	〃	保険診療における歯科衛生士業務②
6	11/25	〃	保険診療における歯科衛生士業務③
7	12/2	〃	保険診療における歯科衛生士の役割④
8	12/9	〃	保険診療における歯科衛生士の役割（法令順守の重要性）

【評価法】 講義の出席状況と試験を総合して評価をする

倫 理 学

【担当者】 本校隣接医学・倫理学関係者 **【実務経験】** 各回項目欄に記載
【目 的】 倫理学の基本について学び、医療関係職種の役割と連携を知る。
【方 法】 講義
【時 期】 第3学年 前期
【時 間】 月曜日 13:00～14:30 [7回目のみ 14:40～16:10]
【教科書】 プリント その他

【授業内容・到達目標】

回	月 日	項 目	授業内容・到達目標
1	4/22	カウンセリングについて 【歯科衛生士】	生命倫理や医療倫理を通して、患者を中心とする医療倫理観を養う
2	5/13	障害に対して (作業療法士の立場から) 【作業療法士】	
3	5/20	障害に対して (理学療法士の立場から) 【理学療法士】	
4	5/27	虐待について 【児童相談所職員】	
5	6/3	終末医療について 【医師】	
6	6/10	終末医療について 【医師】	
7	6/10	エイズについて 【歯科医師】	
8	6/17	個人情報管理について 【歯科衛生士・保健学修士】	

【評価法】 講義の出席状況と授業態度で評価する

隣 接 医 学

- 【担当者】 本校隣接医学・倫理学関係者 【実務経験】 各回項目欄に記載
- 【目 的】 代表的な疾患を理解することで、医療人としての自覚を持ち、患者さんに適切な処置が行えるようにする。
- 【方 法】 講義
- 【時 期】 第3学年 前期～後期
- 【時 間】 下記のとおり
- 【教科書】 プリント その他

【授業内容・到達目標】

回	月 日	時 間	項 目	授業内容・到達目標
1	6/24(月)	13:00 ～ 14:30	院内感染について 【歯科医師】	疾患を理解し、臨床実習時に対応できるだけの知識を習得する
2	7/1 (月)	13:00 ～ 14:30	神経疾患について 【医師】	
3	7/4 (木)	13:00 ～ 14:30	神経疾患について 【医師】	
4	7/8 (月)	13:00 ～ 14:30	薬剤の取り扱いについて 【薬剤師】	
5	9/2 (月)	13:00 ～ 14:30	糖尿病について 【医師】	
6	9/9 (月)	13:00 ～ 14:30	呼吸器疾患について 【医師】	
7	10/31(木)	13:00 ～ 14:30	循環器疾患について 【医師】	
8	11/14(木)	13:00 ～ 14:30	認知症について 【医師】	

- 【評価法】 講義の出席状況と授業態度で評価する